

## 宇都宮市立小中学校の適正規模化に関する懇談会(第6回)会議録

日 時 平成 13 年 5 月 30 日(水) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 10 分

場 所 市役所 13 階 教育委員室

出席者 津布楽会長, 浅川副会長, 小林委員, 藤井委員, 松本委員, 須藤委員, 菊池委員,  
坂入委員, 手塚委員, 塚原委員, 綱河委員,  
高梨教育長, 阿部教育次長, 黒崎教育委員会総務課長, 飯塚学校管理課長,  
山市学校教育課長 外事務局

公開・非公開の別 公開

傍聴者 4 人

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題

### (1) 報告事項

第 5 回懇談会会議録の確認について

### (2) 協議事項

提言書について

- 4 提言書の提出について
- 5 閉会

会議の概要

### 1 報告事項

事務局より説明し, 了承を得た。

### 2 協議事項

提言の内容を確認し, 一部文言等を修正の上「提言書」を作成した。

### 3 提言書の提出

「提言書」を津布楽会長から高梨教育長に提出した。

発言の要旨

(協議事項 提言書について)

事務局・2 ページの(1)児童生徒数の推移の 4 行目の「64%」は、「65%」の誤りである。また、(4)の学校ごとの学級数, 児童生徒数と規模別分布状況で「市街地調整区域」とあるが、「市街化調整区域」の誤りであるので, それぞれ訂正する。

委員・4 ページの適正規模の視点の各項目には, 「。」(句点)がついているが, 6 ページの適正規模化の指針の各項目には, 「。」がついていない。どちらかに統一した方がよいのではないか。また, 7 ページの通学区域制度の弾力的運用等の(1)通学区域制度の弾力的運用で, 「保護者の意向に配慮した」とあるが, 児童生徒に配慮

することもあるので、「保護者等」としてはどうか。

事務局・4ページの「。」の部分については、「。」を付けないこととし、また、7ページについては「保護者等」に修正したいと思う。

会長・4ページの適正規模の視点は、「。」を削除し、6ページの適正規模化の指針の表現とそろえる。また、7ページの通学区域制度の弾力的運用は、「等」を加え、「保護者等」とすることでよろしいか。(了承)

委員・3ページの(1)の学校規模による問題点の 中学校で、「子ども」を使っているところと「生徒」を使っているところがあるが、統一してはどうか。

委員・この部分は、アンケート結果をまとめたものなので、このような表現となっている。

会長・4ページの適正規模の視点でも似たような表現がでてくるが、こちらは「教員と子ども、子ども同士」と「子ども」を使っている。

委員・3ページでは、中学校の問題点なので「生徒」、4ページでは、小中学生をまとめた形で「子ども」という表現を使っている。

会長・このところは、原案のままでよろしいか。(了承)

委員・4ページの適正規模の視点の(1)の2番目に「多様な経験を積む機会が多いこと」とあるが、多様な経験を積む機会が多いか少ないかではなく、多様な経験を積むことができる環境であることが必要なのではないか。また、6ページの適正規模化の指針の(1)に「多様な経験や適度の切磋琢磨ができること」という表現が出てくるが、ここは、「多様な経験を積み、適度の切磋琢磨ができること」ではないか。

事務局・6ページの(1)は、かなり要約した表現となっている。

会長・6ページは、「多様な経験を積み、適度の切磋琢磨～」としてよろしいか。(了承)

・4ページのところは、何かいい表現はありませんか。

委員・いろいろな子どもがいた方がよいということですね。

会長・多様な経験とは、3ページにあるように、いろいろな意見や作品に触れたり、いろいろな個性を持った友達と触れ合うことである。

・3ページに説明もあることですし、この表現は原案のままでいかがでしょうか。(了承)

・他にありますか。ないようですので、修正箇所を確認しますが、2ページは「64」を「65」に、「市街地」を「市街化」に、4ページは「～こと。」の「。」を削除、6ページは「多様な経験」の後に「を積み、」を挿入、7ページは「保護者」の後に「等」を挿入する。以上でよろしいか。(了承)

・それでは、暫時休憩とし、修正の上、教育長に提出することとします。